『楽しい＆エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

季刊 えこびと

第14号
2014年10月

食欲の秋、イベントシーズン真っ盛り！
11 月はいよいよ ESD 国際会議

～特 集～
くらしの環境学習推進事業 意見交換会
エコットキッズタウン 2014

エコメンみ～つけた♪（西尾 果小里さん）
とよたのマチねた紹介
（いきものめぐみ塾里編で訪問した「福蔵寺」と「すげの里」）
主な活動（2014 年７月～９月）
活動レポート
会員突撃インタビュー（船橋 通子さん）
お知らせ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

特集１

くらしの環境学習推進事業　意見交換会
「取り組みの評価と環境学習を広げる！」

「くらしの環境学習推進事業」とは、小学４年生の公共施設見学に加え、見学の事前・事後に出前授業を行い、学習を深める取り組みです。eco-T が開館した翌年に「モデル事業」を実施し、継続して行ってきました。

例年４月、チラシを配布した後に「今年は、いくつ申込みがあるかなぁ」と心配しながら 12 校前後対応をしていますが、今年度は過去最多の 16 校の申込み。浸透してきた証拠！？

いろいろな不安を解消すべく、取り組みの評価や先生たちのニーズを聞くために、毎年、意見交換会を行っています。今年は、８月 22 日（金）に開催、10 校 12 名の先生に参加していただき、取り組みの評価や環境学習を広げていくための支援方法や先生の困りごとなどの意見交換を行いました。

■第１部「くらしの環境学習推進事業意見交換会」

事業の概要を説明したあと、実際に取り組んだ先生が３人１組になり評価や感想を話し合い、発表しました。

「授業を進めていく上で相談ができた。こんな授業をやりたいと希望を出したら、適切な授業を考えてくれた」といった感想や『「豊田市の分別すごいぞ！」という面を打ち出してはどうだろうか。』といったアドバイスを頂きました。

■第２部「豊田市内の環境学習支援内容の説明会」

学校での環境学習の幅を広げてもらえるように、豊田市内で環境学習支援を行っている施設・団体から支援プログラムの紹介を行って頂きました。

〔発表した施設・団体〕

- ・自然観察の森
- ・トヨタの森
- ・矢作川研究所
- ・ごみ減量推進課
- ・とよたエコフルタウン
- ・環境モデル都市推進課
- ・環境政策課
- ・文化振興財団交流館課

■第３部「意見交換：環境学習を広げるために」

豊田市教育委員会が検討している「とよた大好きっ子カリキュラム」や、エコ人の「とよた環境学習・ESD ガイドブック製作（モリコロ基金助成事業）」の取り組みを紹介。先生、支援施設・団体、行政とインプリが４つのグループに分かれて意見交換を実施しました。

話題は、学校で取り組んでいることの情報交換や授業展開の悩み、支援施設・団体の利用方法などが中心でした。

最後に先生から感想として、全体を通して「いろいろな情報があり勉強になった。思いを持って取り組んでいる方々を知ることができた。学校で共有したい。」といった声を頂きました。

今回、先生や他施設の方から頂いた言葉を参考に、より良い環境学習支援になるよう、発展していかなくてはと考えさせられました。（加藤由樹）

エコットキッズタウン 2014「子どもが育つ４日間」

夏休みイベント「子どもが運営する子どものまちエコットキッズタウン」は、今年で６回目。７月31日（木）から８月３日（日）の４日間（昨年＋１日）開催しました。

エコットキッズタウンは、まちのしくみを支える職場や自分で工夫したものを売る商店街、来館者にまちを案内したり、未就園児や低学年に学園を開いたりと多彩です。子どもが自身で判断する、意見・アイデアを出す、知らない子と交流する場です。子どもたちは、いつの間にか初めの不安を乗り越え、活き活きと動き回ります。

保護者には、送迎や「大人はまちに入らない、つきそわない、声かけしない」などの協力をいただいています。

子ども実行委員 13 人も裏方の部分（実行委員会議、準備作業）を体験しながら、当日は率先して職場の先導をし、店を出したりする参加者の部分も楽しんでくれました。大人スタッフも「元気、勇気、平気」でがんばった４日間でした。

今年の参加者の出足はゆったりで、役場で住民登録の大混雑はなくちょっと拍子抜け？でも、それがかえって仕事不足に陥ることなく、通常低学年ではどうかと考えていた職場も仕事についた子に合わせる工夫がなされ、それに応えようと張り切る子どもの姿が頼もしくみえた大人スタッフが多かったようです。２日目からのリピーターが連日 100 人近いのも、初めて体験した子どもたちが楽しんでくれたし、魅力を感じてくれたからかな？と思っています。

このような取り組みは全国各地で行われています。エコットキッズタウンは、おそらく、どこよりもエコでささやかな構えの会場で、子どもたちの工夫を待っています。

今年も大事なく、子どもたちの笑顔いっぱいで終えることができました。

（2014 年実行委員長　長嶋一枝）

〔学校別参加者数〕

①前山小 120 人

②大林小 119 人

③寿恵野小 59 人

●これまでの参加者推移

	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年
新住民	399	468	448	468	477	340
リピーター	185	311	187	242	258	284
合計	584	779	635	710	735	624

ワーク・ライフ・バランスサポーター
NPO 法人ブルーバード
代表理事　西尾　果小里　さん

エコメンみ～つけた♪

Q 「ブルーバード」設立に至るまで

以前私は製造業の事務職でした。社内で PC システム変更があった時、自分の技術を活かしたいとがんばったり、2 回の育児休暇をとりながらも仕事は好きでした。でも、女性であること、育児中で時間の制約があることなどから、なかなか力を発揮できず、女性がイキイキ働くことの難しさを痛感しました。自分らしい生き方を求め退職、しばらく自分探しをしました。東京でワーク・ライフ・バランスコンサルタントの養成講座を受講、この道で生きようと 2012 年から活動を開始しました。

共感してくれた各種コンサルタント（WLB、経営、キャリア）、行政書士、社会保険労務士と広範囲な資格を持つ人が集まりました。そして、2014 年７月、NPO 法人ブルーバードができたのです。女性もシニアもイキイキ働く姿を応援しています。

NPO 法人ブルーバード設立記念パーティにて

Q 続けてきて嬉しかったことは

働く女性のための講座を開いた時、育休中の女性の相談を受けました。育休からの復帰と職場環境への不安を持っていました。彼女は、ワーク・ライフ・バランスの重要さを知り、仲間づくりや職場への積極的な働きかけなどをして、今元気に働いています。私たちの仲間が増えて嬉しいです。

Q ご家族は　ご趣味は

私は安城市出身で 39 歳、豊田市に移り住んで 10 数年。夫は９歳年上です。子どもは女の子３人、小学６年生、小学４年生、４歳です。家族を大事にしています。どんなに忙しくても毎日スキンシップ、ギュッとハグしています。趣味はイラストや絵を描きます。ブルーバードのキャラクターをデザインしました。

Q どんなエコライフを

ごみは分別しています。使わなくなったものを人にあげたり、作り直したりして、モノはなかなか捨てないですよ。eco-T のキッズタウンを娘が体験しています。夢中になっていました。他の所にも行ったけど、eco-T の形が好きですよ。

❤

「イキイキ働き豊かに生きる」考え方を広めたいと終始にこやかに語る西尾さん。なぜか週に数回、新幹線で東京往復する姿が働く自分の姿に、と夢見ていたそうです。

笑顔の職場が広がりますように。

（エコメン取材チーム　長嶋一枝、赤坂洋子）

とよたのマチねた

今回は、いきものめぐみ塾里編で訪問したところを紹介します。

福蔵寺（旭地区）

田畑と山々が広がる自然豊かな場所にあります。現在、住職さんはいませんが、戸田友介さん（(株)M-easy）らが主催する田舎暮らし体験の宿泊場やイベント・農業体験などの拠点になっています。

年に数度開催されている「福蔵寺ご縁市」は、地域を盛り上げるのに一役買っています。地域の方々が作った五平餅やお漬物、野菜や花、手作りのもんぺや小物など、豊富な品々が販売されているそうです。「本の読み聞かせ」のコーナーでは小さな子ども達を夢中にさせたり、「親子バンド」が音楽を奏でて人々の心を温めたりと、毎回、大勢の人たちが参加し、楽しんでいます。

周辺は、多くの草花が生息していて、私の子どもの頃の風景を思い出させます。近くを流れている小川の水も、とてもキレイで、時期にはホタルも飛び交います。私たちが、お邪魔した時には「オオシオカラトンボ」が忙しそうに、実が膨らんできた稲の穂先から穂先へと飛び回っていました。あぜ道を歩くと「コオロギ」が跳ねたり、「ヘビ」が顔を出したりと、十二分に自然を感じることができます。

初めて行った場所なのに、なぜか懐かしく、ホッとできる場所でした。

豊田市里山くらし体験館「すげの里」（足助地区）

すげの里は「自給自足によるかつての里山の暮らしを参考に、エコで自然にやさしい循環型の暮らし」を意図として作られた、ふれあいと体験の場です。建物に入ると、正面に薪ストーブ。暖房は、この薪ストーブと薪ボイラーで沸かしたお湯を循環させる床下暖房で全てをまかなっています。真冬でも室内は常に 23℃、訪れる人々の体を温めています。また、電気は太陽光発電を導入。まさに「エネルギーの自給自足」による里山暮らしの知恵と技が山盛りの施設となっています。

調理室や会議室の他に囲炉裏のある談話室もあり、交流や研修の場として活用する事ができます。また、宿泊もできるのでグループや家族の方も多く利用しています。４升炊きの大きなお釜もあり、薪でご飯を炊いたり、五平餅を作ったりと、電気を使用しないで食事を作る楽しさを味わえることができ、利用者のみなさんに好評だそうです。

目の前の山道を歩いてみました。山の中に入ると、昼間でも薄暗く、人が一人やっと通れる程の道幅が続いています。時折、見たこともないような鮮やかな色のキノコが生えています。また、イノシシが通った形跡もあり、初めて出会うもの達に少しドキドキしながら山道を歩いていきました。以前は、この道が小学校へ通う通学路だったそうですよ。

（浦松恵美子）

とよたエコ人プロジェクトの主な活動（2014 年７月～９月）

●7/5，21　緑のトンネルで猛暑を乗り切ろう！

右側はパッションフルーツの花と実の写真です。
実が完熟すると、甘酸っぱい香りが広がります！

●7/31～8/3　エコットキッズタウン 2014

渡刈クリーンセンター見学ツアー

工房でお仕事中！

工夫をこらしたお店が続々オープン

まちがどんどん成長していきます

町長選挙が実施されました

子ども実行委員が大活躍♪

＜キッズタウンの主な実績＞

・来場者数 1,211 人　（2013 年 1,093 人）

大人	中学生	小学生	乳幼児
434	18	655	104

・キッズタウン内住民数 624 人（リピーター284 人）
・お店の出店数 110
・見学ツアー参加者数 157 人

●7/29～　職場体験やインターンなどの受入れ

ご要望に応じて体験・研修内容を準備し、対応しています。

～豊田市教職員初任者研修（7/29）～

～足助中学２年生 職場体験（8/1-3、8/5-6）～

～豊田東高校教諭 社会体験（8/12）～

～大学生のインターン～

ほかにも、他県や他市からの視察がたくさん！

●8/5，7　夏休み自由研究応援企画

子どもたちの「ハテナ」を「なるほど」に！特別に、プラスチック製容器包装資源化施設も見学しました。

●8/6　まゆでつくろう！指人形

国産の蚕のまゆを利用して、かわいい指人形をつくりました。愛知学泉短期大学の学生さんと NPO 法人マルベリークラブ中部さんとのコラボ企画です。

●8/17　おもちゃの交換会「かえっこバザール」

自分は使わなくなっても誰かが使ってくれる！うれしいですね。

子どもスタッフが活躍♪

コロコロ積み木が登場！

●8/22，9/26　写真俳句を楽しもう

ワーキンググループ P&P（フォト&ポエジー）が企画した講座がスタート。自分で写真を撮り、五七五という短い言葉の中に想いを込めます。

●9/9　中山小３年生の見学対応

今と昔のくらしの違いは？私たちの生活になくてはならない「エネルギー」について考え、大切さを実感！

●9/26　飯野小４年生の出前授業

企業の環境活動を学ぶ

豊田・飯野小の4年生84人

豊田市藤岡飯野町の飯野小学校で二十六日、地元の企業などが取り組むエコやリサイクル活動について学ぶ環境学習講座があった。

同小では昨年から、アイシングループが進める「アイシン環境学習プログラム」を活用して、身の回りの自然や環境などについて学んでいる。今夏、教諭が地元の自動車部品メーカー「アイシン化工」の工場見学をしたのがきっかけとなり、同社や地域の企業などの取り組みを学ぶことになった。

四年生八十四人が参加。アイシン化工社員の平田麻友美さん(23)や、市の環境学習施設「エコット」でのリサイクル活動についての説明もあった。

斎藤陶矢君(9)は、「捨てるごみを再利用すると聞いて、エコがどれだけ大変か分かった」と話した。

アイシン化工のエコ活動の取り組みを紹介する社員の平田さん＝豊田市藤岡飯野町の飯野小で

再利用してタイルを作る地元企業の取り組みや、「エコット」でのリサイクル活動についての説明もあった。

斎藤陶矢君(9)は、「捨てるごみを再利用すると聞いて、エコがどれだけ大変か分かった」と話した。（作山哲平）

ヴェルサウ ホーク 西尾店
アピタ 安城店
茶 南山園

アイシン環境学習プログラムを活用して環境学習に取り組んでいます。eco-T からも出前を行い3R の大切さ、特にリデュースの重要さとエコファミリーなど豊田市の取り組みを説明しました。
学区のアイシン化工さんとの新たなコラボレーションも生まれそうな予感。

活動レポート

●レポート１――――――――――――――――――――>

ＮＰＯ法人とよたエコ人プロジェクト
第６回通常総会を行いました

――――――――――――――――――――――――――>

連日の猛暑が続く７月 21 日（月・祝）の午後、エコフルタウンで第６回通常総会を行いました。総会に先立ちまして、２時間ほどエコフルタウンの見学会も行いました。

エコフルタウンに行ったことがあってもガイドツアーは初めてという方も多く、パビリオン内の「発見の森」や「エコフルシアター」などを見学しました。シアターでは、eco-T の映像も流れ、エコフルタウンをより身近に感じました。

また、ウイングレットの試乗やスマートハウスなどを自由に見学し、楽しい時間を過ごすことができました。

さて、通常総会では、議長を横井さんにお願いし、代表理事の坂本より昨年度の事業報告や今年度の事業計画などを報告後、意見交換会をして無事、総会を終えることがでました。会員の皆様に感謝申し上げます。

総会後は、エコフルタウン内の地産地食レストラン「ホガラカ」で懇親会を行い、アツイー日を終えました。

（赤坂洋子）

●レポート２――――――――――――――――――――>

hibico（ひびこ）の記者ってどんな人？

――――――――――――――――――――――――――>

2012 年より豊田市環境学習サイトとして、発足した hibico。豊田市民を取材した記事なんですが、実は記者自身も豊田市民の子育て奮闘中ママ。子どもの急病や記事がうまくまとまらないなど、４人で助け合いながら、楽しく取り組んでいます。

季刊えこびと編集会議で「どんな人がやっているか知りたい」となったそうで、記者の紹介をします。普通の市民、いや多彩なママかな。

●吉橋久美子さん…普段は“子どものバレー部やダンスの応援が楽しみ”と。ご自宅では、なんと！うさぎを飼っているんですよ。名前はチャミちゃん。喋らないけれど、とってもかわいい！ご自宅で、なでなでしている様子が目に浮かびますね。

●岩城恵美子さん…ほんわか優しい雰囲気。普段はビーズアクセサリーの先生として活躍されています。記事作りにも、そのセンスがきらり☆光ります。さらに、親子で“よさこい”や“おいでん踊り”を。いろんな人達と一緒に踊ることが大好きなんだそうです。実はとってもパワフル。

●水谷純子さん…何でも手際よくテキパキこなす頼りになる存在。昼間はテニスに打ち込む笑顔素敵なママです。なんと、ジャニーズと中日ドラゴンズの熱狂的なファン！ファンクラブに入っちゃうほど（笑）。年に数回はコンサートや野球観戦に行ってリフレッシュをします。

●小原圭子さん…AM ラジオにはまっています。今は投稿もしちゃうほど熱くなっています。自分の投稿が採用されたり、リスナープレゼントが当たったりしたこともあって、やめられない…。
今年の夏も、そのプレゼントで長島スパーランドとゆあみの島に行ってきたそうです！

以上４人で、これからも楽しいエコ活動を発信していきます。どうぞよろしくお願いします！

（田原愛子）

●レポート３――――――――――――――――――――>
いきものめぐみ塾　～山から里から～
――――――――――――――――――――――――――――――>

豊田市がかかげる生物多様性に関わる行動目標（生物多様性とよた戦略）を、eco-T の視点で伝えていこうと、「いきものめぐみ塾」を開催！

◆

第１回 8 月８日（金）山のめぐみ編では、つくば水車の里（旭地区）で小水力発電の様子を見学。稲武どんぐり工房では、おいしいめぐみ「しし鍋」をいただきました！

イノシシやサルなどの獣害は大きな問題ですが、しし鍋はおいしかったです♪面ノ木園地では風力発電の風車を間近で見たり、ブナ林の中に入ったり。豊かで大きな自然を満喫しました。

◆

第２回 9 月 13 日（土）里のめぐみ編では、人のくらしや農業と近い自然の様子を見に行きました。

福蔵寺（旭地区）では田んぼのまわりを散策。バッタやトンボなどの小さな虫たち、田んぼを潤す山からの流れを観察。たっぷり歩いておなかが減ったところでお昼ご飯！すげの里（旭地区）でおいしい里のめぐみ定食をいただきました。すげの里のまわりの山や畑も見学。（この日はたくさん歩きました～）ところどころにイノシシの痕跡が見られドキドキ！

参加してくれた子どもたちも、五感をフルに使って自然のめぐみを感じてくれました。この経験を「自然を大切にすること、守ること」につなげてくれるといいなと思います。

（福間陽子）

●レポート４――――――――――――――――――――>
未来へのエコットーク 2014（第１回、２回）
――――――――――――――――――――――――――――――>

eco-T では、環境活動を実践されている方を講師としてお呼びして講演会を行っています。

| ８月 24 日（日）
| **第１回ごみゼロのまちを目指して！**
| 講師：藤井　園苗さん
| （NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミー）

徳島県上勝町は、「葉っぱビジネス」で有名な地域ですが、ごみ分別・処理でもユニークな取り組みを行っています。

上勝町がごみゼロ（ゼロ・ウェイスト）宣言をするきっかけになったのは財政の圧迫。平成 10 年に 22 分別を開始し、小型焼却炉を設置しましたが、ダイオキシンの問題で 13 年に閉鎖。「燃やすごみ or 燃やせないごみ」という考えから「リサイクルできる or できない」という視点へ。

また、生ごみは各家庭で処理をしたり、家庭のごみ箱は「燃やすごみ」が一番小さいことに、驚きました。

| ９月 14 日（日）
| **第２回地球からのメッセージ！**
| 講師：松本　英揮さん
| （NPO 法人 H-imagine）

宮崎からお越しいただいた松本さんは、自転車で世界 140 カ国をまわったそうです。最新のエコ事情を講演していただきました。

世界の環境先進都市は、自動車から自転車や路面電車・バスの転換がまちづくりのポイントです。

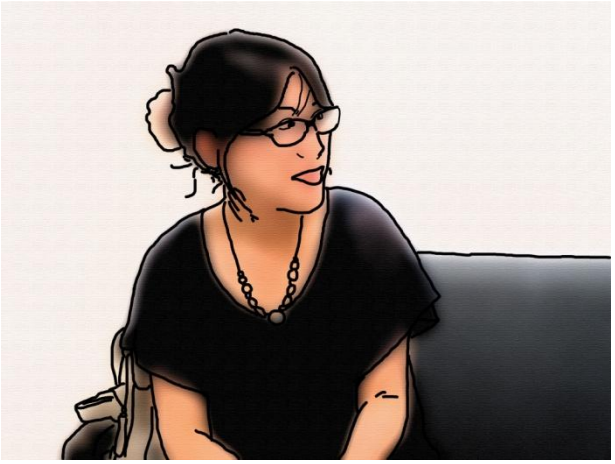
中心市街地に公共交通以外の車の乗り入れを禁止したり、車が自転車を追い抜いてはいけないという法律がある都市もあります。安心してまちを歩けるようにしたことで、中心市街地の活性化も図れたそうです。

また、ご自身のエコ生活や自転車で一人旅をさせる子育てエピソードなど、遠く世界から身近なことまで、楽しく信念を持った取り組みを伺うことができました。

（水野雄介）

家庭菜園と甲子園に夢中♪

今回のゲストは船橋通子さん。夏になると「甲子園」を欠かさず見るそうです。大阪桐蔭 vs 明徳義塾を見ながらの手に汗握るインタビューとなりました。



Q. はじめに、趣味はなんですか？

A. 2 年前から市民農園をお借りして、家庭菜園を始めました。今夏はキュウリ、ナスなどを栽培しました。現在は、秋冬に向けて大根やニンジンの準備をしています。1 年目は豊田市農ライフ創生センターの「旬の野菜づくりコース」を受講しました。2 年目は自己流でやってみたのですが、虫との闘いでした。今年は、石灰を有機に変えたり肥料の量を調整したりと、毎日悪戦苦闘しています。でも、自分で作った野菜はとてもおいしく、家族も喜んでくれていると思います。

Q. 最近、心に響いたり感動したこと。

A. 甲子園という舞台は試合だけでなく、選手やそこに関わる人それぞれにドラマがあっていつも感動しています。少し前には中京の堂林君（現：広島東洋カープ）のおっかけもしたくらい甲子園球児のファンです。身体の小さい選手が大きな選手に負けないよう工夫して頑張っている姿は応援したくなります。今年も、東海大四の西嶋君が投げた超スローカーブに賛否両論が起こりました。身体的に有利な相手に勝つために、試行錯誤の末に磨き上げた努力の結晶だと、私は思っています。 また選手を支えるご家族も大変だろうなと思います。特にレギュラーに選ばれなかった子を支える親は、いつもすごいなぁと感心します。

Q. ほっと一息つける場所は？

A. やはり畑で土いじりをしているときです。もやもやした思いや嫌なことも、畑に行くと忘れる事ができます。畑に行くと1，２時間は家に戻りません。自分が苦労して育てた野菜に実が成ると、とても感動します。ストレスを感じたり、心が疲れている人は、畑を始めてみると良いと思います。

Q. eco-T やエコ人に対して一言お願いします。

A. 実は家庭菜園を始めたきっかけは eco-T です。元々、子どもの食が細くて、栄養があって無農薬の野菜を食べさせたいと思い野菜作りに興味はありましたが、eco-T で知り合ったインタープリターに誘われた味噌作り体験やインタープリター活動を通して、「地産地食」や「フードマイレージ」の言葉を知り、自分でも始めてみようと思いました。現在、eco-T の活動は月１回程度です。それ以外に、リメイク講座を年に1，２回担当しています。息子が小学生の頃は eco-T が大好きで、夏休みイベントのエコットキッズタウンを通して、私は息子に商売センスがあることを知りました（笑）。

eco-T は家に居ては気づかないことをたくさん教えてくれる、学ぶには最適な場所だと思います。

畑を始めて、スローライフを実践している船橋さん。自分の畑で採れたじゃがいもは、油で炒めるだけで絶品だそうです。

（会員突撃チーム：岩月桂子・水野雄介）

■とよた再生可能エネルギー講座　受講生募集

太陽、水、木のチカラをくらしに、事業に、地域づくりに取り入れよう！

日時	＊全て金曜日	内容
第1回　11月7日	午前10時～正午	再生可能エネルギーって？
第2回　11月21日		太陽光発電から考えるエネルギーのかしこい利用
第3回　12月5日		安定供給優等生！水力発電に取り組もう
第4回　12月19日	午前10時～午後4時	豊田市内先進地見学ツアー（貸切バス）

場　所：豊田市再生可能エネルギーセンター（とよたエコフルタウン内）大会議室
定　員：先着30人（全回参加優先）
参加費：無料
申込み：10月21日（火）10時から再生可能エネルギーセンター（電話0565-41-7391）
その他：5組程度託児あり（申し込み時にご相談ください）

■ミニ太陽光発電組み立て講座

日　時：11月8日（土）13：30～16：00
場　所：とよた市民活動センター（松坂屋上階）
定　員：10名（組）家族・サークルでの申込み可
参加費：42,800円
（太陽光パネル50w組み立てキット付）
その他：見学のみの方は参加1,000円
申込み・問合せ先：
NPO法人とよたエコ人プロジェクト
電話0565-50-5684

■講演会「創ろう！未来のエネルギー」

日　時：11月9日（日）13：30～15：30
場　所：豊田市環境学習施設eco-T（エコット）
内　容：ミニ太陽光発電組み立て講座の講師、藤野電力の小田嶋電哲氏の講演会。
参加費：無料
その他：講演会終了後、お茶を飲みながら講師とお話しする「ティータイム」があります。
申込み・問合せ先：eco-T（エコット）
電話0565-26-8058

■いきものめぐみ塾「まちのめぐみ編」

日　時：11月16日（日）10：00～16：00
場　所：とよたエコフルタウン集合・解散
対　象：小・中学生（小学3年生以下は保護者同伴）
内　容：豊田市の中心市街地を散策して自然から得ている恵みを体験します。
参加費：500円
申込み・問合せ先：eco-T（エコット）
電話0565-26-8058

■エコットフォーラム2014　【予告】

からだも地域もよろこぶおいしいごはん

日　時：12月14日（日）10：00～15：00
場　所：豊田市環境学習施設eco-T（エコット）
対　象：どなたでも
内　容：講演「からだも地域もよろこぶごはん」
映画「100年ごはん」上映
パネルトーク「食、農、地域づくり」
備　考：内容は予定、eco-TのHPをチェック

●ローカルエネルギーフェスタ in とよた

日　時：11月22日（土）10：00～16：00
場　所：とよたエコフルタウン
内　容：石田秀輝氏講演会（東北大学名誉教授）
かえっこバザール＆エコ屋台村
出張リユース、再エネ工作
体験型パフォーマンスシアターほか

●第3回いなかとまちの文化祭

日　時：11月30日（日）10：00～16：00
場　所：豊田市駅西側
シティプラザ＆ペデストリアンデッキ
内　容：こころを耕すくらしのマルシェ
いなかとまちのシンポジウム
いなかとまちのステージほか

●第2回とよた市民活動フェスタ

日　時：11月29日（土）10：00～16：00
場　所：とよた市民活動センター
内　容：午前の部：親子向けイベント
午後の部：若者向けイベント
夜の部：大人向けイベント

詳細は検討中

●とよたエコライフ倶楽部フェスタ

日　時：11月29日（土）10：00～14：00
場　所：トヨタ生協メグリア本店
内　容：とよたエコポイントとエコ商品の交換
牛乳パックとモーいちどの交換
エコレンジャーショー、牛乳パック工作

エコ人からのお知らせ
新規会員募集中！

〔会員特典〕

・ほぼ季刊で「えこびと」をお届けします。
・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
・講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
・e-cafe チケット３枚プレゼント！
　コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議、
　eco-T で毎週木曜日に開催しています。
・少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。
・スタッフや理事に気軽に質問や相談ができます♪（笑）

＊入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

〔会費〕

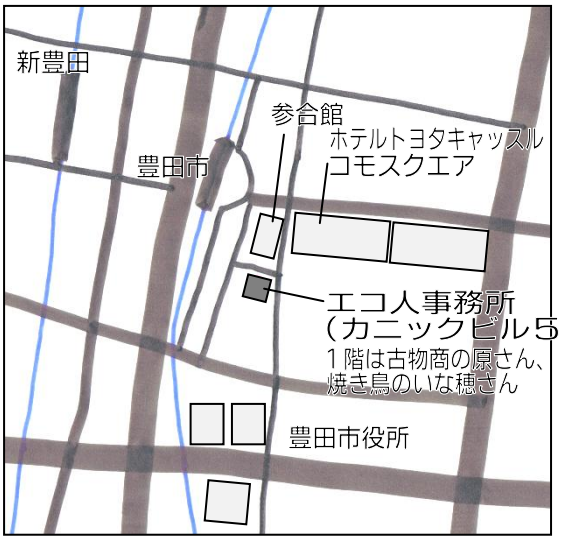
正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一　般	1,000 円／口
	学　生	500 円／口
	非営利団体	3,000 円／口
	営利団体	10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 22 人、賛助会員 46 人・３団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



大人気！

環境カレンダー2015 ができました

環境漫画家のハイムーンこと高月紘先生のイラストが入ったカレンダーができました。高月先生には、eco-T の開館式典で講演をいただきました。また、イラスト何点かをエコットのレクチャーで使わせてもらっています。

今年のテーマは『「みどり」ってなぁに？』です。

事務所・eco-T に見本を置いてあります。
定価：900 円　会員価格：500 円（税込）

編集後記

もうすぐ ESD 国際会議。「Think Globally、Act Locally（地球規模で考え、足元から行動せよ）」という言葉を最近とんと聞かなくなった。この秋は小学校で講義をやり、地元の運動会に参加しお祭りの山車をひく。輪番制の組長だから「Act」したが、行動するきっかけは、得られにくい…。
と、いい訳ばかりしていては、何の問題も解決しない。Step by step で次の一歩を。

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階
TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568
メール：info@t-ecobito.jp
ホームページ： http://t-ecobito.jimdo.com/

最新情報はホームページへ
エコ人　検索